**ＯＤＡ不正リベート１億６千万円、第三者委認定**

2014年04月26日 03時00分

　政府開発援助（ＯＤＡ）事業を巡る不正なリベート提供疑惑で、 鉄道コンサルタント会社「日本交通技術」（ＪＴＣ、東京）の第三者委員会は２５日、ＪＴＣによるリベート提供は１９９０年代から始まり、２００９～１４年 に総額約１億６０００万円がベトナムなど３か国の政府関係者ら１３人に提供されていたと発表した。

　１３年の税務調査で問題を指摘された後も経営陣がリベート継続を決め、「業務として組織的に行われていた」と指摘した。〈関連記事３９面〉

　東京地検特捜部は、不正競争防止法違反（外国公務員への贈賄） にあたるとみて、現地で政府関係者に現金を渡した複数の同社社員らの事情聴取を進めている。第三者委の委員長の国広正弁護士は２５日、東京・霞が関で記者 会見。「ＪＴＣは賄賂を要求された被害者ではなく、相手国の腐敗を助長する不正の共犯者だった」と述べた。

www.yomiuri.co.jp/national/20140426-OYT1T50002.html